

生育診断を行って適期・適量穂肥

1 生育概況(コシヒカリ 7/8現在)

現在の生育(指標値比)

平坦地	草丈:並 (98%)	茎数:やや多い (106%)	葉数:並 (+0.1)	葉色:濃い (SPAD値+2.2)
中山間地	草丈:並 (98%)	茎数:やや多い (106%)	葉数:並 (+0.1)	葉色:やや濃い (SPAD値+1.6)

○葉色は、ほ場間差が大きく、田植の早いほ場を中心に指標値並となっていますが、生育の遅れたほ場では濃い傾向です。全体的に茎数がやや多くなっています。

○平坦地の田植が早いほ場では「コシヒカリ」が幼穂形成期を迎えています。

2 調査結果 (普及センター、JA調査ほ)

(1)コシヒカリ

場所	標高	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考		
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差			
平坦地	今熊(浦川原)	16	5/12	69	106%	106%	596	株当 33.1	136%	130%	11.5	+0.1	+0.5	39.0	+3.9	+3.0	
	飯室(浦川原)	13	5/8	65	83%	100%	464	株当 24.4	88%	101%	11.4	-0.5	+0.4	36.2	-3.8	+0.2	幼穂形成期 7/8
	宮口(牧)	71	5/19	58	91%	89%	407	株当 21.9	83%	88%	10.5	-0.9	-0.5	39.3	+1.0	3.3	
	平均			64	93%	98%	489	26.5	101%	106%	11.1	-0.5	+0.1	38.2	+0.4	+2.2	
中山間地	安塚(安塚)	80	5/8	67	94%	103%	564	株当 33.2	131%	123%	11.5	-0.4	+0.5	34.9	-4.6	-1.1	幼穂形成期 7/7
	和田(安塚)	133	5/15	62	93%	95%	466	株当 22.4	117%	101%	11.6	-0.1	+0.6	34.9	-0.5	-1.1	
	大島(大島)	152	5/15	64	84%	98%	449	株当 22.8	78%	98%	10.9	-0.9	-0.1	36.7	+1.8	+0.7	
	菖蒲(大島)	337	5/20	63	95%	97%	510	株当 27.0	98%	111%	11.1	±0	+0.1	40.4	+2.2	+4.4	
	高尾(牧)	352	5/23	62	85%	95%	447	株当 22.7	77%	97%	10.4	-0.2	-0.6	41.0	-1.3	+5.0	全量基肥
平均			64	90%	98%	487	25.6	97%	106%	11.1	-0.3	+0.1	37.6	-0.5	+1.6		

(2)つきあかり

場所	標高	田植	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考		
			本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差			
平坦地	長走(浦川原)	19	5/7	80	95%	103%	466	株当 25.6	143%	135%	-	-	-	40.4	-5.2	+0.4	1回目穂肥 施用済み
	宮口(牧)	57	5/17	79	98%	101%	342	株当 18.7	101%	99%	11.1	-1.0	-0.2	42.6	-1.3	+2.6	1回目穂肥 施用済み
	平均			80	96%	103%	404	22.2	121%	117%	11.1	-1.0	-0.2	41.5	-3.3	+1.5	
中山間地	田麦(大島)	310	5/15	76	-	117%	527	株当 28.8	-	155%	10.9	-	+0.1	46.5	-	+6.5	全量基肥
	高尾(牧)	285	5/21	75	96%	115%	362	株当 17.9	79%	106%	10.8	-1.0	±0	43.3	-1.3	+3.3	全量基肥
	平均			76	97%	117%	445	23.4	97%	131%	10.9	-0.9	+0.1	44.9	+0.3	+4.9	

3 今後の管理のポイント

○「コシヒカリ」の出穂期は平年並みから1日程度早く、前年より1~2日早い見込みです。

○「コシヒカリ」の出穂予想と穂肥のめやす(稚苗5/10~15頃、中苗5/15~20日頃の移植の場合)

平坦地: 8月4~5日頃出穂、幼穂形成期は7/12~13頃、1回目の穂肥時期は7/18~21

中山間地: 8月9~10日頃出穂、幼穂形成期は7/17~18頃、1回目の穂肥時期は7/23~27

○1回目の穂肥は、ほ場ごとに幼穂形成期の草丈、葉色を必ず確認し、施用時期と量を決めましょう。

表 コシヒカリの幼穂形成期(出穂24日前頃)の生育による1回目の穂肥診断

草丈	並		濃い	
	SPAD値	34~32	SPAD値	35以上
75cm以内	時期・量とも基準どおり施用		時期を遅らせて施用	
75~80cm以内	施用量を減らす		時期を遅らせ、施用量を減らす	
80cm以上	施用しない		施用しない	

○「つきあかり」は2回目穂肥時期が近づいています。施用量は窒素成分で1.5kg/10アールです。

出穂は7/25~26日頃、2回目の穂肥は7/11~12日の見込みです。(稚苗5/10~15頃、中苗5/15~20日頃の移植の場合)

○病虫害発生予察調査でカメムシ類が多く確認されています。イネ科雑草が結実しない3週間程度の間隔で農道・畦畔の草刈りを行い、本田防除も徹底しましょう。